

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901225		
法人名	有限会社 ほほえみゆたか		
事業所名	グループホーム すてきだね		
所在地	北海道旭川市東光15条5丁目2番12号 (電話) 0166-32-9123		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月9日	評価確定日	平成21年3月24日

【情報提供票より】(平成21年2月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	23人	常勤	19人, 非常勤 4人, 常勤換算 17.12人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600円	その他の経費(月額)	15,000~26,000円
敷金	有() 無()		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 無()	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	500円	おやつ
	または1日当たり 1,200円		

(4) 利用者の概要(2月20日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	4名	要介護2	3名		
要介護3	7名	要介護4	4名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 86.1歳	最低	79歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山下整形外科クリニック、おうみや内科クリニック、ツインハーブ歯科 旭川リハビリテーション病院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有しターミナルケアを実践したグループホームです。また、職員の困っていること、知りたいこと、疑問に思っていることを可能な限り毎日5分間ミーティングを実施して、スキルアップやケアサービスの質の向上に取り組んでいます。毎月「すてきだね通信」発行し、「認知症に関する一口メモ」を継続的に掲載して地域の人達や家族に認知症への理解が深まるように取り組んでいます。また、身体機能の維持向上の為に、併設されているデイサービスの利用や母体法人でのリハビリが行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、職員の段階に応じた内部研修の充実が挙げられていましたが、職員の困っていること、知りたいこと、疑問に思っていることを可能な限り毎日5分間ミーティングを実施して、スキルアップやケアサービスの質の向上に取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については管理者、職員間で話し合われ評価を通じて具体的な改善に取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、定期的な開催はされていませんが内容については専門家を招いた防災講習が行われています。 火災設備・装置の使用方法について 消防署への連絡方法について 避難場所への誘導方法/消火器の使用方法 今後は、2ヶ月毎に定期的開催されることを期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の来訪時には、健康状態や日頃の暮らしぶりを伝えたり、来訪しやすいように声掛けや定期的な連絡を行い要望や意見など伺う機会を作り運営に反映させる取組みが行われています。また、家族会も年2回開催され、職員との交流や意見交換が行われていると共に苦情等の意見箱を玄関入り口に設置して意見や苦情を表せる機会を設けています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地元の人々が通う併設されているデイサービスとの交流や「ほほえみ祭り」で福祉専門学校生やよさこいのボランティア、家族や町内の人達の参加で日常生活を通じて地域との連携に取り組んでいます。また、町内行事への参加や大正琴、クラリネットなど地域のボランティアの受け入れなど積極的に行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎朝のミーティングを通じて話し合いその実践に向けて日々取り組んでいる		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の人々が通う併設されているデイサービスとの交流や「ほほえみ祭り」で福祉専門学校生やよさこいのボランティア、家族や町内の人達の参加で日常生活を通じて地域との連携に取り組んでいる。また、町内行事への参加や大正琴、クラリネットなど地域のボランティアの受け入れなど行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については管理者、職員間で話し合われ評価を通じて具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の委員は、利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、包括支援センター、法人代表者、法人事務長、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		<p>評価日現在は、不定期に開催されているので、今後は2ヶ月毎に定期的開催されることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性については十分理解し、市主催の研修会参加や包括支援センターとの情報交換、研修会参加に取り組みサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理については、出納が毎月報告されている。また、毎月発行される「すてきだね通信」や個々の家族に発行される「近況報告」で日常生活の様子や健康状態などが報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時には、健康状態や日頃の暮らしぶりを伝えたり、来訪しやすいように声掛けや定期的な連絡を行い要望や意見など伺う機会を作り運営に反映させる取り組みが行われている。また、家族会も年2回開催され、職員との交流や意見交換が行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、職員の離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、毎月発行される「すてきだね通信」で職員の顔写真付きで紹介記事が掲載されている。</p>		<p>今後は、見やすい場所にその日の職員の勤務状況等が分かるような掲示の工夫を期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会、包括支援センター、市主催の研修会など外部研修参加を奨励している。また、内部での転倒防止や日々の介護方法についての研修も都度実施している。</p>		<p>特筆すべき点として、職員の困っていること、知りたいこと、疑問に思っていることを可能な限り毎日5分間ミーティングを実施して、スキルアップやケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や包括支援センターの研修参加を通じて他施設との交流が行われ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前にはお試し入居や本人、家族の来訪の回数を増やし、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、茶碗洗いや洗濯物たたみ、畑作業や歌唱など一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて炊作業や洗濯物たたみ、食事の準備や茶碗洗いなどの支援や散歩や買物など本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言、モニタリングやカンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて3ヵ月毎に見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院の支援や散歩や買物、外食など柔軟な支援をしている。また、訪問理美容の利用やリハビリへの支援も実践されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、内科、整形外科、眼科、歯科のかかりつけ医を確保しており、いつでも適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階で本人・家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。		特筆すべき点として、管理者・職員で方針を共有し、ターミナルケアを実践している。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応、記録の扱いをしている。また、身体拘束委員会や朝のミーティング、内部研修等で職員で共有している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、茶碗洗いや洗濯物たたみ、掃除や調理の準備、散歩や買物、畑作業など本人の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、下ごしらえや後片付け、盛り付けや配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回を目安にゆっくりと入浴が楽しめるように支援している。また、拒否の強い本人には家族と協力して対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら菜園での野菜の収穫、茶碗洗いや洗濯物たたみ、料理の準備や後片付け、散歩や買物など気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	初詣やお花見、花フェスタや紅葉見物、冬祭りやドライブ、散歩や買物など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、身体拘束委員会で職員の意思疎通を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的な火災避難訓練や救急救命訓練が実施され、町内会の役員も参加して行われ緊急時に速やかに対応が出来るよう取り組まれている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>職員に栄養士がいて栄養バランスや摂取カロリーについて指導・助言が得られている。また具体的な食事や水分の摂取量が記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔感が漂う広い共用空間では、身体機能の維持・向上のための歩行訓練が行われたり、利用者が集い、談笑やひとりになったり思い思いに過ごして和やかさが感じられた。また、リビングからは季節感が味わえるような工夫が行われている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、観葉植物や家族の写真が飾られたり、テレビや冷蔵庫などの電化製品、使い慣れた家具などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。